

高等部だより

岡山大学教育学部
附属特別支援学校高等部
6月号 令和6年6月3日(月)



運動会へのご参加ありがとうございました!

当日は、絶好の運動会日和でした。保護者の皆様、ご家族の皆様、生徒たちへの温かいご声援、本当にありがとうございました。

実は、作業班対抗借り物競争リレー、台風の日では、練習のときはいつも農耕チームが勝っていました。それでも、めげずにチームで協力し、運動会当日、陶芸チームは見事初勝利を挙げる事ができました。

これは、陶芸チームが諦めることなく**レッツチャレンジ!**し続けたからこそだと思います。

間違いなく、みんな頑張っていました。ご覧になった皆様も**燃える魂**を感じられたことと思います。しかし、その頑張っている様子は、見ていて辛くなるような頑張りではなく、楽しい気持ちで見られる頑張りだったと思いませんか?それぞれが自分のできることに精一杯取り組んだり、同じ目標に向かって友達と共に取り組んだりしていく中で、無理なく頑張っていたのだらうと思います。

この「無理なく頑張る」ということは、卒業後の職業生活でも大事なポイントになると考えます。仕事は、当然頑張るものです。しかし、いつも全力で頑張っていると長続きしません。無理なく頑張ることで、サステナブル(持続可能)な職業生活を送ることができるのです。また、ここぞという場面でも目一杯頑張ることができる余力を蓄えておくことができるような気がします。

話が運動会から逸れてしまいました。岡本が個人的にさすが高等部と感じたことがあります。それは、応援する姿です。言うまでもなく生徒たちの演技・競技は素晴らしかったです。そして、演技・競技中、ダイジェストやリレーなど自分の出番以外のときには、しっかりと応援し、友達のパフォーマンスに拍手を送ることができていました。それだけでなく、小学部・中学部の演技・競技にも生徒テントから懸命に声援を送る姿がとても印象的でした。うちわやメガホンなど、用意した応援グッズを活用して運動会を盛り上げている姿はまさに**最高の応援**だったと思います。

とにかく、生徒たちが終始良い表情で運動会に臨むことができていたのが、一番良かったと思っています。勝っても負けても、しっかりと達成感をもつことができたのではないのでしょうか。楽しめて、頑張れて、大成功した運動会は、きっと**仲間と思い出**のひとつになったことでしょう。その仲間の中には、高等部の仲間はもちろん、小学部・中学部の後輩たちも入っているはずです。もっと言えば、応援して下さった保護者の皆様や同窓生の皆さんも。そして、願わくは、私たち教師も運動会の思い出の中に仲間として入れておいてもらいたいものです。